評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| 一年かんを  ふりかえろう | 【関心・意欲・態度】  入学してからの１年間を振り返り，楽しかったでき事などをみんなに伝えようとしている。（態度・行動） | ・教科書(p.104～105)のページを使って，同じようなでき事はなかったかなどを思い出させ，会話を進めるなかから，グループや学級の話し合いに取り込んでいくようにする。 |  | ・楽しかったでき事などを具体的にわかりやすく友達や学級に紹介しており，共感する子どもの姿も見られる。  ・自分の発表だけでなく，友達の発表にも耳を傾けている。 |
| 【思考・表現】  写真やカードを手がかりに，楽しかったでき事やお世話になった人のことを思い出し，まとめたり，話し合ったりしている。（行動・発言・カード） | ・グループごとの話し合いでは，教師がそばについてアドバイスしたり，カードにかかれたコメントなどにもふれたりしながら，特に思い出に残っているものから順に振り返らせるようにする。 |  | ・単なるでき事の紹介ではなく，その折々に感じたことや気付いたことを取り入れながら，わかりやすく発表したり，楽しみながら話したりしている。 |
| 【気付き】  季節や時間の移り変わりのなかで，いろいろな人にお世話になり，たくさんの思い出ができたことに気付いている。（発言・発表・カード） | ・活動時の画像や映像を用いて，どんな人にどんな時にお世話になったかを思い出させるようにする。  ・教科書(p.107)にある「たのしかった こと ベスト３」などの記述をもとに，どんな気付きがあったかを振り返らせる。 |  | ・写真やカードを効果的に使って１年間の振り返りを行い，気付いたことやお世話になった人のことについてもきちんとふれている。 |
| できる ように なった  ことも たくさんあるね | 【関心・意欲・態度】  自分ができるようになったことや，家族や身近な人とのかかわりについて，友達と話をしたりしている。（態度・行動） | ・この１年間にできるようになったことがたくさんあることを前提として，どんな些細なことでも自信をもって発表できる雰囲気づくりやルールづくりを心がける。 |  | ・自分ができるようになったことを冷静に振り返り，自信をもって活動している。  ・できるようになることをさらに増やしたいという意欲が感じられる。 |
| 【思考・表現】  できるようになったことや得意なことをまとめたり，発表したりしている。（つぶやき・発言・カード） | ・できなかった入学当初の頃の様子について教師が話をし，できるようになった現在の自分と比較できるようにする。  ・口頭の発表や文書によるまとめに限らず，発表の方法を多様化する。 |  | ・できるようになったことに実感を込め，意欲的に発表したり，友達の内容と比べたりしている。 |
| 【気付き】  振り返りの過程のなかで，自分ができるようになったことや友達の成長やよさに気付いている。（発言・カード） | ・家族からの手紙や友達の感想などを取り入れながら，できるようになったことに気付かせるようにする。  ・教科書にある「できるように なった こと」などを参考にする。 |  | ・自分と周囲の人(友達・家族・地域の人)とのかかわりのなかで，できるようになったことをとらえ，気付いたことをまとめている。 |
| あたらしい １年生を  むかえよう | 【関心・意欲・態度】  １年生が喜んでくれる準備や工夫を意欲的に話したり，発表したりしている。（態度・行動） | ・自分たちが，今の２年生に温かく迎えてもらったことなどを思い出させたり，新しい１年生がどんな気持ちで入学してくるかなどにふれながら，興味・関心が高まるようにする。 |  | ・リーダシップを発揮し，意欲的に新しい１年生を迎える準備を進めている。  ・昨年度，自分たちがしてもらったことをもとにしながら，具体的な内容や運営を考えている。 |
| 【思考・表現】  自分の経験やできるようになったことの自信から，１年生が喜んでくれそうなことなどを考え，実行しようとしている。（行動・発言・カード） | ・自分ならどんなことがうれしかったか，どんなことをしてあげたいかを考えさせながら，思いや願いを聞き出していく。  ・教科書のイラストや写真を使って，新しい１年生を迎える活動に具体的なイメージをもてるようにする。 |  | ・１年生が喜んでくれそうなことなどを進んで考え，主体的な会を企画しようと努力している。 |
| 【気付き】  自分たちにも新しい１年生にしてあげられることがあることに気付いている。（発言・つぶやき・カード） | ・個別に話を聞きながら，活動を通して気付いたことを意識化できるようにする。 |  | ・自分たちがしてもらったことへの感謝と，してあげることへの喜びの両方に気付いている。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| もうすぐ ２年生 | 【関心・意欲・態度】  学年が１つ上がる喜び，新しい季節を迎える喜びに満ちている。（態度・行動） | ・活動に消極的であり，興味がもてない理由(進級への不安，友達との別れ，担任の交代など)をきいてあげる。  ・教室を離れ，新しい季節の訪れを感じる場所で小単元の導入を行う。 |  | ・新しい季節の訪れとともに，学年が１つ上がる喜び，新しい１年生を迎える喜びに満ちながら，意欲的に活動している。 |
| 【思考・表現】  ２年生に進級する喜びや２年生になってやってみたいこと，また，見つけたり感じたりした春の訪れを素直に表現している。（行動・発言・カード） | ・教科書(p.114)の記述欄を活用して，文字や絵で自由にかかせた後，その理由や具体的な内容を尋ねながら，考えをまとめさせる。 |  | ・２年生に進級する喜びや２年生になってやってみたいこと，また，見つけたり感じたりした春の訪れを多様な方法を用いて意欲的に表現している。 |
| 【気付き】  進級の喜びや抱負，互いの成長を自覚し，季節の変化やサイクルに気付いている。（発言・カード） | ・カードなどへのコメントを利用して，見逃している気付きや感想が意識化できるようにする。 |  | ・進級の喜びや抱負，季節の変化についての気付きがしっかり自覚されている。 |